

1. 科目名（単位 数）	教育学概論（初等・幼）（2 単位）		3. 科目番号	SJMP1105
2. 授業担当教員	黒田 智隆			
4. 授業形態	講義、演習（グループワーク含む）		5. 開講学期	春期・秋期
6 履修条件・ 他科目との関係	幼稚園、小学校教育などの道に進もうとする意欲を求めます。			
7. 講義概要	本科目は教育という営みに深い関心を持ち、「教育とは何か」ということを考え始めている人に対し、教育（学）の基本的な概念と基礎理論について概括することを通して、受講者一人ひとりが、教育（学）の観点から今日の「子ども」を取り巻く環境の変化をふまえた「よりよい保育・教育」のあり方を考える上で求められる基礎的知識の修得を目的とする。具体的には、主に保育士・幼稚園（または小学校教諭）になるための土台となる教育の基本的概念や理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかについて、受講者同士の対話をとおして理解を深めて行く。			
8. 学習目標	本講義は、本科目の目的を達成するために、以下の目標を設定する。 1. 教育のさまざまな側面に触れることで、各自のこれまでの教育概念を揺さぶり、それぞれが教育という営みを再考できるようになること。 2. 教育に関する代表的な論考やアプローチから教育の射程の広さを学び、教育理解に関する柔軟さ、そして教育実践における覚悟と責任と寛容さを培えるようになること。 3. ディスカッションや発表を通して、一対多という状況の中でも物怖じしない態度を身につけられるようになること。			
9. アサシメント （宿題）及びレポ ート課題	① 宿題として、次回の授業内容と関連する用語調べを求めることもある。 ② 以下の内容のレポートを求める。最後の授業までに必ず提出する（成績評価の対象であるとともに、授業で用いるため必ず提出すること） 1. 教育や保育にかかわる新聞記事を探し、その概要を記す。（500字—700字程度-第5回授業時提出） 2. 授業内容をふまえてレポートを作成する。（遊びと学びについて論ずる）1000字程度-第10回授業時提出） 3. 授業内容をふまえてレポートを作成する。（授業の進度にあわせて提示）1000字程度-第14回授業時提出）			
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 『最新保育士養成講座 2 教育原理』全国社会福祉協議会。 【参考書】 広田照幸・塩崎美穂編『保育・教育実践テキストシリーズ 教育原理 保育実践への教育学的アプローチ』樹村房、2010 年。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説 第 4 版』中央法規、2013 年。			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 教育学の基本的概念・教育に関する歴史・思想を理解し、自分の言葉で説明できる力を身につけたか。（知識・理解） 2. 教育理解に関する柔軟さ、保育・教育実践に求められる態度・姿勢を身につけることができたか。（関心・意欲・態度） 3. 教育学に関する基本的な理論を理解した上で、教育という営みを再考することができるようになり、ディスカッションや発表を通して自分の意見を伝える力を身につけることができたか。（判断力・表現力） 以上の観点をふまえ、下記の 1～3 によって評価する。 ○評定の方法 【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】 1. 授業への取り組み姿勢（ディスカッションやグループワークへの積極的参加度） 総合点の 3 0 % 2. 授業内での課題提出（小テスト・中間レポート等） 総合点の 4 0 % 3. 期末課題 総合点の 3 0 %			
12. 受講生への メッセージ	1）授業は講義を中心に展開していきますが、議論や発表など学生が参加できるような機会をつくります。そのような場では、ぜひ積極的に取り組んでください。 2）授業中の迷惑行為（私語など）、飲食、携帯電話やゲーム機の使用などは禁止します。マナー違反の学生に対しては減点するとともに退室を命じます。 3）厳正な出席管理をするために指定する座席に着席してください。また、授業中の許可のない教室の出入りは認めません。			
13. オフィスアワー	第 1 回目の講義でガイダンスします。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第 1 回	ガイダンス	事前学習	これまで受けてきた「教育」の意味を考える。教科書を概観する。	
		事後学習	教育学に関係のある教育分野について調べ、ワークシートにまとめる。	
第 2 回	教育の意義・目的（1） －「教育」と「保育」とめぐる歴史的経緯－	事前学習	教科書第 1 章第 1 節～2 節を読み、教育の定義と意義・目的に関する予備知識を持つ。	
		事後学習	「ルソーの教育論」についてワークシートにまとめる。	
第 3 回	教育の意義・目的（2） －教育と児童福祉との関連性・人間形成と仮定・地域・社会等との関連性－	事前学習	教科書第 1 章第 3 節～第 4 節を読み、教育と児童福祉との関連性に関する予備知識を持つ。	
		事後学習	「教育と福祉」・「人間形成と家庭・地域・社会との関連性」についてワークシートにまとめる。	
第 4 回	諸外国の教育の思想と歴史的変遷（1） －古代から中世の教育と教育思想－	事前学習	教科書第 2 章第 1 節を読み、古代から中世の教育と教育思想に関する予備知識を持つ。	

		事後学習	「古代から中世の教育と教育思想」についてワークシートにまとめる。
第 5 回	諸外国の教育の思想と歴史の変遷（2） -近世から近代の教育と教育思想-	事前学習	教科書第2章第1節を読み、コメニウス・ロック・ルソー・ペスタロッチ・フレーベルの教育思想と子ども観についての予備知識を持つ。
		事後学習	「教育思想と子ども観の関係」についてワークシートにまとめる。
第 6 回	諸外国の教育の思想と歴史の変遷（3） -近代公教育制度の確立と教育学の発展-	事前学習	教科書第2章第1節を読み、ヘルバルト・デューイ・モンテッソーリの教育思想と子ども観についての予備知識を持つ。
		事後学習	「教育思想と子ども観の関係」についてワークシートにまとめる。
第 7 回	日本の教育の思想と歴史の変遷（1） -古代から近世の教育と教育思想-	事前学習	教科書第2章第2節を読み、日本の古代から近世までの教育思想と子ども観の歴史についての予備知識を持つ。
		事後学習	「近世の教育思想と子ども観」についてワークシートにまとめる。
第 8 回	日本の教育の思想と歴史の変遷（2） -近代・現代の教育と教育思想-	事前学習	教科書第2章第2節を読み、日本の近代以降の教育思想と子ども観の歴史についての予備知識を持つ。
		事後学習	「日本の教育思想における子ども観の歴史の変遷」についてワークシートにまとめる。
第 9 回	学校教育制度に関する歴史とその社会的機能について	事前学習	教科書第3章第1節～第4節を読み、「学校教育の機能」と「子どもの権利」についての予備知識を持つ。
		事後学習	「学校教育制度の課題」についてレポートにまとめる。
第 10 回	諸外国の教育制度について	事前学習	教科書第3章第5節を読み、諸外国の教育のしくみを読み、関心のある国の教育制度の特徴についてレポートにまとめてくる。
		事後学習	国別グループ発表をふまえ、諸外国の教育制度からの学びをレポートにまとめる。
第 11 回	教育実践に関する歴史と思想（1） -教育方法の歴史・学習理論-	事前学習	教科書第4章第1節を読み、教育方法の歴史・学習理論についての予備知識を持つ。
		事後学習	「デューイの思想が教育実践に与えた影響」についてレポートにまとめる。
第 12 回	教育実践に関する歴史と思想（2） -教育内容・指導原理-	事前学習	教科書第4章第2節を読み、カリキュラムや指導原理についての予備知識を持つ。
		事後学習	「教育実践の多様な取り組み」についてレポートにまとめる。
第 13 回	生涯教育・社会教育に関する歴史と思想	事前学習	教科書第5章第1章を読み、生涯学習に関する思想についての予備知識を持つ。
		事後学習	生涯教育・社会教育の理念と意義をワークシートにまとめる。
第 14 回	現代社会における教育課題	事前学習	教科書第5章第2節を読み、現代社会の教育的課題に関する予備知識を持つ。
		事後学習	「現代社会における教育課題」について、歴史的な視点からレポートにまとめる。
第 15 回	まとめ	事前学習	教科書、配布資料を読みなおし、これまでの14回の授業内容を振り返る。
		事後学習	授業内容を踏まえたうえで、理解が不足していた点を再度学習する。